

猫が庭などに入らないようにする方法

① 忌避剤

猫の嫌いな臭いや刺激臭によって猫が近づきにくくなります。

※注意点

- ・雨や風で効果が薄れてしまうので、効力を維持するために、定期的に交換する必要があります。
- ・猫が臭いに慣れてしまうと、効かなくなる場合がありますので、同じものを長期間利用するのではなく、定期的に変える必要があります。
- ・臭いが強いものや色が付いてしまうものもあります。その場合はあらかじめ、近隣の方に説明しておきましょう。
- ・化学薬品などは健康被害の誘因となる可能性があるので、使用をお控えください。

市販の忌避剤	ペットショップや薬局、ホームセンター等で販売されている。
香りの強いハーブ等の植物を植える	猫の嫌がる香りのするハーブなどを植えるか、鉢植えを猫の通り道に置く。あるいは、ハーブの香料を置く。 ※例として、ランタナ、ユーカリ、ゼラニウム、ヘンルーダ、ローズマリー、レモングラス、柑橘類、ペパーミント、タマネギ、ニンニク、チャイブ、マリーゴールド、カニナハイブリット（ドイツで開発されたコリウスの一種で犬にも有効と言われる）等。
木酢液	園芸用肥料としてホームセンター等で販売されている。スプレーすれば、猫のにおい消しにも有効。
ニンニク	細かくきざんで撒くか、ネットに入れて吊るす。
とうがらし	唐辛子を細かく切って撒くか粉末状のものを撒く。
香辛料	コショウやカレー粉等の香辛料を、通り道やフンをする場所に撒く。
コーヒーかす・茶殻	コーヒーをドリップした後のカスやどくだみ茶などの茶殻を散布する。 ※持続性がなく、雨で流れると効果がなくなる。花壇等にも撒ける。

米のとぎ汁	とぎ始めの濃い汁を散布する。
ミカンなどの皮	柑橘類の皮を撒く。 ※香りがなくなると、効果がなくなる可能性がある。
食用酢	容器に入れるか、スポンジや布に浸み込ませて置く。2 倍から 10 倍程度に水で薄めたものを毎日噴霧する。
どくだみの葉	どくだみの葉をつぶしたものを撒く。または、つぶした汁を撒く。あるいは、どくだみを植える。

② 障害物など

人が転んだ時に怪我をするおそれのない場所に設置しましょう。

水を撒く	ホースでたっぷりと水を撒く。 ※猫は体がぬれることを嫌がるため。
枯れ枝	枯れ枝を一面に敷く。球根や種を植えているところに敷き詰めると、掘り返されない。
ガムテープ	粘着面を外側にして輪を作り、猫の通り道に置く。
割り箸	猫の通り道や花壇に立てて置く。
荷造りのひも	へビに見えるように蛇行させて、通り道に置く。
石灰・炭粉	ホームセンターや園芸店で販売されている。通り道に撒くと足に粉が付き、猫が嫌がる。
猫よけトゲトゲシート	ホームセンターや 100 円均一ショップ等で販売されている。 花壇の上などに置くと、トゲで歩けなくなるため、猫が近寄らなくなる。

③ 猫を追い払う方法

猫は愛護動物ですので、虐待にあたる行為はしてはいけません。法律で罰せられます。

センサー超音波	猫が通るとセンサーにより、超音波を発生する装置が市販されている。
---------	----------------------------------

上記の方法をとる際に気をつけてほしいこと

- ① 個体差もあり、あまり反応しない猫もいるので、必ずしも効果を保障するものではありません。
- ② 方法によっては、効果が長続きしない場合や、反復継続を続けることが必要な場合があります。猫が慣れてしまい、反応しなくなる場合もあります。
- ③ 臭いがするものを使用する際は、あらかじめ近隣の方に説明をしておく等、トラブルにならないようにしましょう。
- ④ 猫は愛護動物です。虐待にあたるような犯罪行為はしてはいけません。